

「栃木県後期高齢者医療広域連合の財務諸表（令和5年度決算分）（単体）」の概要

1 貸借対照表について

栃木県後期高齢者医療広域連合の資産総額は143億6,761万2,364円で、負債は403万5,837円、純資産は143億6,357万6,527円となっている。

資産については、そのほとんどが現金預金と基金（固定資産・流動資産）である。現金預金の内訳は、各会計の剰余金の合計が51億6,315万8,016円、歳計外現金が3万9,274円となっている。基金の内訳は、固定資産に該当する基金が保険給付費等支払準備基金で87億2,230万2,132円、流動資産に該当する基金が財政調整基金で4億3,375万2,338円となっている。

なお、流動資産の現金預金については、出納整理期間終了時の現金預金残高を示すものであり、翌年度に国県等への補助金返還分や社会保険診療報酬支払基金への返還分など、返還金として支出する分の金額も含まれているため、純資産のうち、余剰分（不足分）の全てが本来の剰余金の要素を持つものではない。

| 借 方 | | 貸 方 | |
|---------------|------------------|-------------------|------------------|
| 【資 産】 | 143億6,761万2,364円 | 【負 債】 | 403万5,837円 |
| 固定資産 | 87億6,437万5,883円 | 流動負債 | 403万5,837円 |
| うち有形固定資産 | 122万8,530円 | | |
| うち投資その他の資産 | 87億6,314万7,353円 | 【純資産】 | 143億6,357万6,527円 |
| （基金） | 87億2,230万2,132円 | 固定資産等形成分 | 91億9,812万8,221円 |
| 流動資産 | 56億 323万6,481円 | 余剰分（不足分） | 51億6,544万8,306円 |
| うち基金 | 4億3,375万2,338円 | | |
| 【資産合計】 | 143億6,761万2,364円 | 【負債・純資産合計】 | 143億6,761万2,364円 |

2 行政コスト計算書について

経常費用は総額2,337億6,829万3,402円であり、経常収益は総額3億1,349万565円となっている。これらの差引からなる純経常行政コストは2,334億5,480万2,837円となっている。

内訳として、性質別に見ると人にかかるコスト（人件費）が4,532万638円、物にかかるコスト（物件費等）が19億2,051万4,214円、移転支的的なコスト（移転費用※）が2,302億6,432万8,842円となっている。

※療養の給付に要した費用の支払いを栃木県国民健康保険団体連合会が行うにあたり、移転した費用などをいう。

3 純資産変動計算書について

令和5年度中における純資産は、15億661万8,437円の減となっている。

内訳は、純行政コスト2,334億5,480万2,837円に対して、財源が2,319億4,818万4,400円（うち市町負担金事務費、療養給付費及び保険料、社会保険診療報酬支払基金交付金等が1,366億324万8,780円、国県等の補助金が953億4,493万5,620円）であり、本年度末純資産残高は143億6,357万6,527円となった。

4 資金収支計算書について

業務活動収支は14億8,336万2,178円の赤字、投資活動収支は20億3,686万1,851円の黒字となっており、令和5年度の資金収支額は5億5,349万9,673円の黒字となったことから、本年度末資金残高は51億6,315万8,016円となっている。

本年度末現金預金残高は、本年度末資金残高に歳計外現金残高3万9,274円を加えた51億6,319万7,290円となっている。